

令和5年度全国学力・学習状況調査結果の概要

今年度の全国学力・学習状況調査は、令和5年4月18日に小学校6年生を対象に国語・算数、中学校3年生を対象に国語・数学・英語が実施されました。

<調査の目的>

全国学力・学習状況調査は、次のような目的で毎年実施されています。

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ります。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てます
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立します。

<学力調査の結果 (※平均正答率(%)は美幌町が全国・道・町の平均正答率(問)を使用して算出した数値)>

●小学校 全国との差が2ポイント以内に！

美幌町の小学校の平均正答率は、すべての教科で全国より下回りましたが、その差は昨年度と比べて縮まるという結果になりました。

- 小6国語の平均正答率は全国と比べると1.4p低い65.8%でしたが、全国との差は昨年の5.6pと比べると縮まっています。
- 小6算数の平均正答率は全国と比べると1.2p低い61.3%でしたが、全国との差は昨年の5.2pと比べると縮まっています。

R5 小学校6年生 <国語>

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
美幌町	118	9.2 / 14	65.8
北海道(公立)	35,645	9.2 / 14	65.8
全国(公立)	964,177	9.4 / 14	67.2

R5 小学校6年生 <算数>

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)
美幌町	118	9.8 / 16	61.3
北海道(公立)	35,657	9.8 / 16	61.3
全国(公立)	964,350	10.0 / 16	62.5

●中学校 全国との差がわずかに縮まる！

美幌町の中学校の平均正答率は、すべての教科で全国より下回りましたが、その差は昨年度と比べてやや縮まるという結果になりました。

- 中3国語の平均正答率は、全国と比べると10.6p低い59.4%でしたが、全国との差は昨年の11.0pと比べるとわずかですが縮まっています。
- 中3数学の平均正答率は、全国と比べると13.3p低い37.4%でしたが、全国との差は昨年の17.4pと比べると縮まっています。
- 中3英語の平均正答率は、全国と比べると8.8p低い36.5%という結果になっています。(昨年は未実施)

R5 中学校3年生 <国語>

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
美幌町	132	8.9 / 15	59.4
北海道(公立)	34,256	10.4 / 15	69.4
全国(公立)	892,738	10.5 / 15	70.0

R5 中学校3年生 <数学>

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
美幌町	130	5.6 / 15	37.4
北海道(公立)	34,259	7.4 / 15	49.4
全国(公立)	893,114	7.6 / 15	50.7

R5 中学校3年生 <英語>

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)
美幌町	131	6.2 / 17	36.5
北海道(公立)	34,242	7.5 / 17	44.2
全国(公立)	893,528	7.7 / 17	45.3

<学力調査と学習状況調査を合わせた特徴的な結果>

● **小学校 ①発表場面では自分の考えが伝わる工夫が大切！**

「発表場面で、自分の考えが伝わるように資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」と答えた児童ほど、平均正答率は高くなりました。

(質問) 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	児童数	児童数の割合 (%)	平均正答率(%)	
			国語 14問	算数 16問
1 発表していた	40	34.2	69.3	63.4
2 どちらかといえば、発表していた	52	44.4	64.6	60.9
3 どちらかといえば、発表していなかった	22	18.8	65.6	63.1
4 発表していなかった	2	1.7	42.9	15.6
5 考えを発表する機会はなかった	1	0.9	57.1	56.3

● **中学校 ①発表場面 ～ 小学校と同様の結果！**

「発表場面で、自分の考えが伝わるように資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた」と答えた生徒の平均正答率は、国語・数学・英語のすべてで高い結果になりました。

(質問) 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	生徒数	生徒数の割合 (%)	平均正答率(%)		
			国語 15問	数学 15問	英語 17問
1 発表していた	44	34.1	63.9	45.5	42.2
2 どちらかといえば、発表していた	54	41.9	60.7	37.0	37.0
3 どちらかといえば、発表していなかった	19	14.7	54.4	30.7	31.0
4 発表していなかった	7	5.4	40.0	15.2	23.5
5 考えを発表する機会はなかった	4	3.1	58.3	20.0	14.7

② **自分で計画を立てて勉強することが大切！**

「家で勉強するときに、自分で計画を立てて勉強している」と答えた生徒の平均正答率は、国語・数学・英語のすべてで高い結果になりました。

(質問) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (学校の授業の予習や復習を含む)	生徒数	生徒数の割合 (%)	平均正答率(%)		
			国語 15問	数学 15問	英語 17問
1 よくしている	26	20.2	72.6	49.0	47.1
2 ときどきしている	50	38.8	60.7	39.6	37.6
3 あまりしていない	37	28.7	51.7	29.0	30.2
4 全くしていない	16	12.4	51.7	29.3	29.8

③ 学んだことを生かし自分の考えをまとめることが大切！

「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている」と答えた生徒の平均正答率は、国語・数学・英語のすべてで高い結果となりました。

(質問)	生徒数	生徒数の割合 (%)	平均正答率(%)		
			国語 15問	数学 15問	英語 17問
1 当てはまる	26	20.2	72.1	52.3	46.6
2 どちらかといえば、当てはまる	63	48.8	58.5	35.3	36.5
3 どちらかといえば、当てはまらない	33	25.6	55.8	32.7	32.9
4 当てはまらない	7	5.4	37.1	21.0	15.1

<問題分類毎の正答率から見た特徴的な結果>

●小学校国語 「書くこと」に課題

小6国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率が71.4pと全国を上回るなど成果がみられました。一方で「書くこと」の平均正答率は22.9pで低い結果となり、課題がみられました。

分類		区分	平均正答率(%)		
			美幌町	北海道	全国
全体の平均正答率			66.0	66.0	67.2
学習指導 要領の内 容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	71.4	69.7	71.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	57.6	61.8	63.4
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	71.5	72.0	72.6
		B 書くこと	22.9	23.5	26.7
	C 読むこと	70.9	69.7	71.2	
評価の観点		知識・技能	67.4	67.4	68.9
		思考・判断・表現	64.3	64.1	65.5

(平均正答率の高かった問題と低かった問題)

問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
		美幌町	北海道	全国	美幌町	北海道	全国
(読むこと) 【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる	90.7	88.9	90.0	0.0	1.1	1.2

(書くこと) 【川村さんの文章】 の空欄に学校の米作 りの問題点と解決方 法を書く	図表やグラフなどを 用いて、自分の考え が伝わるように書き 表し方を工夫するこ とができるかどうか をみる	22.9	23.5	26.7	2.5	7.7	7.1
---	--	------	------	------	-----	-----	-----

●小学校算数 「図形」に正答率の低い問題

小6算数では、「データの活用」で全国の平均正答率を4.8p下回りました。また、「図形」では全国の平均正答率を1.8p上回りましたが、正答率の低い問題がみられました。

分類	区分	平均正答率(%)		
		美幌町	北海道	全国
全体の平均正答率		61.0	61.0	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	66.4	64.4	67.3
	B 図形	50.0	48.7	48.2
	C 変化と関係	68.2	69.0	70.9
	D データの活用	60.7	63.9	65.5
評価の観点	知識・技能	65.5	65.6	67.2
	思考・判断・表現	55.6	55.0	56.5

(平均正答率の高かった問題と低かった問題)

問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
		美幌町	北海道	全国	美幌町	北海道	全国
(変化と関係) 5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる	94.9	92.5	93.5	0.0	0.9	0.8
(図形) 切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときに、テープを切るときのAの角の大きさを書く	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる	16.1	21.7	24.9	2.5	4.2	3.7

●中学校国語 「書くこと」「読むこと」に課題

中3国語では、「書くこと」の平均正答率が50.8pで全国との差が12.4p、「読むこと」は50.9pで全国との差が12.8pと低い結果となりました。

分類		区分	平均正答率(%)		
			美幌町	北海道	全国
全体の平均正答率			59.0	69.0	69.8
学習指導 要領の内容	知識及び 技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	60.2	66.4	67.5
		(2)情報の扱い方に関する事項	54.2	63.7	63.4
		(3)我が国の言語文化に関する事項	64.6	74.5	74.7
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	72.5	81.8	82.2
		B 書くこと	50.8	62.1	63.2
C 読むこと		50.9	63.3	63.7	
評価の観点		知識・技能	60.4	69.1	69.4
		思考・判断・表現	58.1	69.2	69.7

(平均正答率の高かった問題・低かった問題)

問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
		美幌町	北海道	全国	美幌町	北海道	全国
(話すこと) インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかをみる	82.6	87.6	87.5	0.0	0.1	0.1
(書くこと) レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する。	読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかをみる。	47.7	54.1	54.3	0.8	0.5	0.6
(読むこと) 現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く。	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかをみる。	37.9	50.1	50.0	38.6	22.7	20.7

●中学校数学 「図形」「データの活用」に課題

中3数学では、「図形」の平均正答率が21.8pで全国との差が11.4p、「データの活用」においては平均正答率が29.2pで全国との差が19.3pとなりました。

その他の領域でも全国との差が10p以上開いており、無回答率の高い問題もみられました。

分類	区分	平均正答率(%)		
		美幌町	北海道	全国
全体の平均正答率		37.0	49.0	51.0
学習指導要領の領域	A 数と式	51.8	61.7	63.0
	B 図形	21.8	32.9	33.2
	C 関数	37.1	49.7	51.2
	D データの活用	29.2	44.5	48.5
評価の観点	知識・技能	42.5	54.4	55.7
	思考・判断・表現	27.1	39.1	41.6

(平均正答率の高かった問題・低かった問題)

問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
		美補町	北海道	全国	美幌町	北海道	全国
(数と式) はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が、たす数が3のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる	83.1	88.1	88.9	6.2	2.8	2.4
(データの活用) 「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	19.2	31.5	33.6	38.5	25.0	22.8
(図形) 2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる	20.8	31.2	32.1	46.2	26.7	24.7

半数近くの生徒が無解答(白紙)

●中学校英語 「書くこと」に課題

中3英語では、「書くこと」の平均正答率13.7pと低く、全国との差も9.7pありました。また、「書くこと」の問題においては、無解答率の高いものもみられました。

分類	区分	平均正答率(%)		
		美幌町	北海道	全国
全体の平均正答率		37.0	44.0	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	50.8	58.1	58.4
	(2) 読むこと	41.2	48.7	51.2
	(3) 書くこと	13.7	21.1	23.4
評価の観点	知識・技能	40.7	49.5	51.5
	思考・判断・表現	31.8	37.6	38.8

(平均正答率の高かった問題・低かった問題)

問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
		美幌町	北海道	全国	美幌町	北海道	全国
(聞くこと) ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	72.5	77.6	79.0	0.8	0.1	0.1
(書くこと) ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	12.2	17.2	19.5	46.6	33.1	29.3
(書くこと) 学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる	6.1	6.3	7.4	37.4	25.9	21.4

半数近くの生徒が無解答(白紙)

<まとめ>

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果は、昨年度に引き続き、小学校は全国、中学校は全国・北海道の平均正答率を下回る結果となりましたが、その差は縮まっております。教育委員会では、今回の結果をふまえ、引き続き以下の学力向上策を掲げて取り組んでまいります。美幌町の子どもの学力向上のため、保護者・地域及び関係者の皆さま、ご協力をお願いいたします。

<美幌町教育委員会の学力向上策>

- ◎「読書の大切さ」を家庭に啓蒙するとともに、図書館と連携し「読書好き」な子を育成する取り組み
- ◎家庭における学習習慣を確立するための小中一貫した「家庭学習の指標」の作成と積極的な活用
- ◎若手・中堅教職員の授業力・指導力向上に向けた取り組みの更なる推進
- ◎教職員1人1人のICT（タブレット・電子黒板）を活用した授業力を向上させる取り組み